

兵庫縣宍粟郡音水、赤西兩國有林の羊齒類

稲田 又 男 建 部 惠 潤

かねて採集の希望をもらされていた稲田又男、永井憲之、内海功一、久宗丑雄、藤本義昭、杉田隆三、田口勝夫諸氏を、お誘いして京都大学田川基二博士の御指導を仰ぎ、去る昭和26年8月13、14の両日、音水、赤西兩國有林へ採集旅行を試みた。筆者等兩人は従前から兩國有林の羊齒類の綿密な調査を希望していたので、今回の採集は自然とシダ類の採集に主力がまがれ、田川先生の御懇篤な御指導と参加者各位の御協力とによつて多大の成果をあげることができた。恐らく自生するシダの大部分が判明したものと思う。しかも分布上興味ある種類や分類上の稀品も得られ、兵庫県の羊齒類フロラに新産品を数種加えることができた。兵庫県下で1ヶ所にかくもシダ類の種類が多い採集地は筆者ら兩人の知るどころでは船越山を除いて無いと思うので採集品の目録に従来私の採集している2種を加えてここに兩國有林のシダ類を記録しておきたいと思う。

次に採集のコースを簡単に記しておく、12日夕刻山崎営林署音水事務所に着き1泊、13日音水國有林を採集した。事務所を出て林用軌道に沿つて行く間もなくイワイタチシダ、サイゴクベニシダが見られた。しばらく軌道を採集し谷間へ下つてやゝ進んだ所で樹上に高くクラガリシダが着生していた。永井氏が登つて採集一同で分けあつた。それからかなり溪流にそつて進んだがオオバノハチジョウシダ、ヒロハヤブソテツ、コタエワタリが谷間にあり、巨木にはクラガリシダが着生しているのを見ることができた。再び軌道へ出る直前に巨木の幹の蘚座にカラクサシダがあり又附近にシロヤマシダがあつた。やがて軌道の橋があり、その附近にオシダ、キジノオシダ、リョウメシダが群生していて、その中にオニヒカゲワラビが見られた。こゝで昼食をし、再びリョウメンダの群落中を進んだが巨木の樹幹にオシヤゴジデンド、ヒメノキシノブ、ミヤマノキシノブなどが着生していた。再三軌道を歩いて行くときヤマコイヌワラビ、コバノイシガクマ、ハクモウイノデ、キョウタキシダなどがあり、やがて滝に至つて引返すことにした。滝の附近ではサトメシダ、ミヤマイタチシダ、イワイタチシダなどが見られた。滝の湿岩にクマノゴケの見られたのも珍しかつた。帰る途中フジシダが伐採跡に見付かつた。それから道を左にとり山を越えて旧軌道のある谷へ出たが背栗附近にはシノブカグマがあつた。又谷間には珍しく

もタイミンガサの群落が見られた。危険な軌道跡を下つて行く途中変つたものとしてツルデンドがあつた。かくて事務所に6時過ぎ無事帰着したが、夕食後本日の採集品を調べてシダの目録を作り、又、田川先生から種々有益なお話を実物によつてうかゞつた。

14日は早朝出発軌道を赤西口へ向つた。赤西口まできにサイゴクイノデ、シノブが新しく見られ、オオバサガラの果実を付けたものが多量に採集できた。赤西口事務所で荷物を運んでいたくよう依頼し身軽になつて赤西の溪谷を軌道に沿つて採集をつづけた。かつて昭和23年11月イワヤシダを探つた谷へ入るとやはり1株だけが生育していた。いよいよ軌道附近の伐り残された中へ入ると、軌道の石垣にコタエワタリが沢山にあり、又フジシダの群落がある。余程行くとオニヒカゲワラビの巨大なものがあり、私が持つて杉田氏のカメラにおさまつたが2mを越えたものであつた。シダ類は多く音水で昨日採集したものであつたがオオクジャクシダ、ハリガネワラビ、イノデの類、イヌワラビの類が相当あつた。又、クロタキカヅラ、フウリンウメモドキの果実を付けたものが採集できたのも珍しかつた。カンカケ谷への道を少し入つて田川先生は見事なイワヤシダを採られ一同に分配して下さつた。正午少し前我々の寝具や荷物を運ぶトロが到着、それに乗つて赤西事務所へ到着した。昼食後は事務所からさらに奥へ採集したが、事務所を出て間もなくミヤマベニシダの立派なものがあり一同充分に採集できた。その後カラクサイヌワラビが初めて見付かり、その他は採集済のものばかりで、道をそれ谷川の岩をつたつて兩岸のシダを見ていつたが変つたものもなく谷川のヒノビユースを採りながら事務所へ引返した。湯水で発電不能ということで明るい内に急いで採集品の整理や夕食を終え、夜は致し方なく十三夜の月下で談笑がつけられた。

15日は旧盆で従業員が全部山を下るので早朝トロで帰途に着き12時前山崎に帰り解散した。田川先生と稲田氏は雪彦山へ向われた。(建部記)

今回の2日間に亘る音水、赤西兩國有林の羊齒を主とする採集会は建部氏の綿密な計画と山崎営林署の御配慮又、田川先生の適切な御指導と此の三者相俟つて我々参加者は最大の効果を挙げる事が出来た。

その採集行については建部氏の記述により詳細が報ぜられてあるので、筆者は此の採集会が成功をもたら

した理由について書いてみることにする。

(構成について) 田川先生を中心として我々8名の参加者と當林署福田氏他に案内人1名で合計11名であった。人員数についてはその目的が植物知識の普及や植物趣味の涵養等の目的による一般採集会では多人数であつてよいが、1つの地域の植物の調査を目的とするような場合はあまり多人数では反つて十分な調査ができない。又2名や3名の少人数では又調査洩れになることも考えられる。今回の10名内外の人員が理想的であると思われる。

(行程について) 1日の行程は両日共約8キロであつた。これも季節と採集物によつて行程に長短が出来ると思われる。そこで最も多く採集の行われる夏期を中心として、顕花植物でもつと行程を延長して差支えない。羊歯植物や蘚苔類と下等な植物になる行程は短縮されねばならない。羊歯類と蘚苔類の採集者は採集場所から云つても大体同一行動がとれる。

今回の採集では両日共に幾つかの谷に出合つた。その内何かありそうだと思われる所謂第六感のはたらいた谷はことごとく調査することが出来た。これは無理な行程を計画に組入れなかつた為である。

(復習について) 宿舎に着いて採集物の整理をして夕食後一同くつろいだ気持ちで田川先生を中心に車座になり、当日の採集物について復習を行つた。これによつて参加者全員が当日の採集物について談合し、採集物の再確認と当日の採集目録を作成することが出来た。オオバノイノモトソウ、マメヅタ、ミツデウラボシなどが自生しないことを確認できたことはこの復習の注意すべき結果である。これは後日に到つては不可能であろう。尙田川先生から当日の羊歯植物の解説等をしていただいた。しかしこの復習は宿泊の伴う採集会でないとい出来ない。

以上の通り、この会は筆者にとつて戦後はじめての大収穫ともいふべき採集会として強く印象に残っている。

最も能率的な採集会のあり方として要約すると次の

1. 構成人員 約10名内外
2. 1日の行程 約8キロ程度
3. 当日の採集物の復習をすること

となり、今後に於ける羊歯類採集のモデル、ケースとして此の採集会の果たした役割は大きいと思う。

(稲田記)

最後に御多忙中御遠路我々の御指導に御西下いただいた田川先生に一同に代つて厚く御礼申上ます。又今回格別の御配慮を賜つた山崎當林署當局並に採集に御協力下さつた参加者各位に対し深く感謝致します。尙

本稿は田川先生の御指導によつて書かれ、先生には本稿を御校閲下さり、次にかゝる目録の学名は厳密な御訂正を賜つたものであります。重ねて深甚の謝意を表します。(Dec. I. 1952, 建部、稲田)

兵庫縣粟郡音水、赤西國有林羊歯類目録

I. Lycopodiaceae ヒカゲノカヅラ科

Lycopodium clavatum L. var. *nipponicum* Nakai

ヒカゲノカヅラ 赤西

L. serratum Thunb. ホソバノトウゲンバ 音水

II. Selaginellaceae イワヒバ科

Selaginella pachystachys Koidz. カタヒバ 音水、

赤西

III. Osmundaceae ゼンマイ科

Osmunda japonica Thunb. ゼンマイ 音水、赤西

IV. Lygodiaceae カニクサ科

Lygodium japonicum (Thunb.) Sw. カニクサ 音

水、赤西

V. Hymenophyllaceae コケシノブ科

Hymenophyllum barbatum Miq. コウヤコケシノ

ブ 音水

VI. Plagiogyraceae キジノオシダ科

Plagiogyria euphlebia (Kunze) Mett. オオキジノ

オ 音水、赤西

P. japonica Nakai キジノオシダ 赤西

P. Matsumureana Makino ヤマンテツ 音水、赤西

VII. Polypodiaceae ウラボシ科

Dennstaedtia hirsuta (Sw.) Mett. イヌシダ 音水

赤西

D. scabra (Wall.) Moore コバノイシカグマ 音水

赤西

Davallia Mariei Moore シノブ 音水、赤西口

Pteridium aquilinum (L.) Kuhn var. *japonicum*

Nakai ワラビ 音水、赤西

Pteris inaequalis Bak. var. *aequata* (Miq.) Tagawa

オオバノハチジョウシダ 音水

Adiantum pedatum L. クシヤクシダ 音水、赤西

Coniogramme intermedia Hieron. イワガネゼンマ

イ 音水、赤西

Ptilopteris Maximowiczii (Bak.) Hance フジシダ

音水、赤西

Matteuccia struthiopteris (L.) Todaro クサシラ

ツ 赤西

Pentarhizidium orientale (Hook.) Hayata イヌガ

シラ 音水、赤西

Struthiopteris niponica (Kunze) Nakai シシガシ

ラ 音水、赤西

- Asplenium incisum* Thunb. トラノオシダ 音水、赤西
A. Trichomanes L. チャセンシダ 赤西
Phyllitis scolopendrium Newm. var. *japonicum* Kom. コタニワタリ 音水、赤西
Pleurosoriopsis Makinoi (Maxim.) Fomin カラクシダ 音水、赤西 (稀)
Diplazium squamigerum (Miq.) Matsum. キヨタキシダ 音水、赤西
D. nipponicum Tagawa オニヒカゲワラビ 音水、赤西
D. hachijoense Nakai シロヤマシダ 音水 (稀)
Diplaziopsis Cavaleriana (Christ) C. Chr. イワヤシダ 赤西 (稀)
Athyrium niponicum Hance イヌワラビ 音水、赤西
A. iseanum Ros. ホソバイヌワラビ 音水、赤西
A. frangulum Tagawa ミヤコイヌワラビ 赤西
A. otophorum (Miq.) Koidz. タニイヌワラビ 音水、赤西
A. vidalii (Fr. et Sav.) Nakai ヤマイヌワラビ 音水、赤西
A. clivicola Tagawa カラクサイヌワラビ 赤西 (稀)
A. Wardii (Hook.) Makino ヒロハイヌワラビ 音水、赤西
A. solutum Ros. サトメシダ 音水
A. pycnosorum Christ ハクモウイノデ 音水、赤西
A. mesosorum (Makino) Makino ヌリワラビ 音水
Cornopteris decursivo-pinnata (Hook.) Nakai シケチシダ 音水、赤西
Dryopteris crassirhizoma Nakai オシダ 音水
D. lacera (Thunb.) O. Ktze. クマワラビ 音水、赤西
D. Dickinsii (Fr. et Sav.) C. Chr. オオクシヤクシダ 赤西
D. monticola (Makino) C. Chr. ミヤマベニシダ 赤西、音水 (稀)
D. Sabaei (Fr. et Sav.) C. Chr. ミヤマイタチシダ 音水、赤西
D. erythrosora (Eat.) O. Ktze. ベニシダ 赤西
D. hondoensis Koidz. ヒロハベニシダ 赤西
D. Championi (Benth.) C. Chr. サイコクベニシダ 音水 (稀)
D. saxifraga H. Itô イワイタチシダ 音水 (稀)
D. Bissetiana (Bak.) C. Chr. ヤマイタチシダ 田川博士(仮称) 赤西
Rumohra mutica (Fr. et Sav.) Ching シノブカグマ 音水
R. Standishii (Moore) Ching リョウメンシダ 音水、赤西
Leptorumohra Miqueliana (Maxim.) H. Itô ナライシダ 音水、赤西
Polystichum pseudo-Makinoi Tagawa サイコクイノデ 音水、赤西口
 var. *ambiguum* Tagawa イノデモドキ 音水、赤西
P. retroso-paleaceum (Kodama) Tagawa サカゲイノデ 音水、赤西
P. ovato-paleaceum (Kodama) H. Itô ツヤナシイノデ 音水、赤西
P. tripterum (Kunze) Pr. ジュウモンツシダ 音水 赤西
P. craspedosorum (Maxim.) Diels ツルデンダ 音水 (稀)
Cyrtomium Fortunei J. Sm. ヤブソテツ 音水、赤西
 var. *clivicolum* (Makino) Tagawa ヤマヤブソテツ 赤西
C. macrophyllum (Makino) Tagawa ヒロハヤブソテツ 音水
Thelypteris japonica (Bak.) Ching ハリガネワラビ 赤西
T. laxa (Fr. et Sav.) Ching ヤワラシダ 音水、赤西
T. oligophlebia (Bak.) Ching var. *elegans* (Koidz.) Ching ヒメワラビ 音水、赤西
Phegopteris decursive-pinnata (van Hall) Fée ゲジゲシシダ 音水、赤西
Leptogramma totta (Willd.) J. Sm. ミゾシダ 音水、赤西
Polypodium Fauriei Christ オシヤゴジデンダ 音水、赤西
Lepisorum Thuubergianus (Kaulf.) Ching ノキシノブ 音水、赤西
L. annuifrons (Makino) Ching ホテイシダ 音水 (稀)
L. ussuriensis (Reg.) Ching var. *distans* (Makino) Tagawa ミヤマノキシノブ 音水、赤西
L. Onoei (Fr. et Sav.) Ching ヒメノキシノブ 音水、赤西 (以下159頁へ)

- 分布 琉球、台湾、支那、ジャワ、ハワイ其の他熱帯乃至温帯に広く分布し、本邦でも本州、四国、九州、屋久島等に普通。
12. *Cololejeunea minuta* (Mitten) Stephani
和名 ヒメグサリゴケ、ヒメケクサリゴケ。
(No. 2949)
分布 本州、四国、九州、屋久島、琉球、台湾、及び朝鮮に産する。
13. *Lejeunea nipponica* S. Hattori
和名 ヤマトコミミゴケ
(No. 2940)
分布 1944年、服部新佐氏により南九州（日向、大隅）の標本により作られた種名であるが本州からは初めての報告である。
14. *Lejeunea vaginata* Stephani
和名 カマハコミミゴケ
(No. 2934, 2936, 2955)
分布 日本特産種で従来四国（土佐）、九州（日向、大隅）から報告されている。本州から初めての報告である。筆者は南九州の薩摩でも採集している。
- Fam. *Frullaniaceae*
15. *Frullania pedicellata* Stephani
和名 クロアオヤスデゴケ
(No. 2935, 2942, 2948)
分布 日本特産、確実な産地は四国（土佐）、九州（日向、大隅、薩摩）で、本州からは初めての報告である。
16. *Frullania Makinoana* Stephani
和名 マキノヤスデゴケ
(No. 2941)
分布 日本特産種で本州、四国、九州、対馬から知られている。
17. *Frullania moniliata* (Reinwardt, Blume et Nees) Montagne subsp. *obscura* Verdoorn
和名 エダウチヤスデゴケ
(No. 2944, 2961, 2962, 2964, 2968)
分布 印度、セイロン、スマトラ、ジャワ、支那、台湾、朝鮮、琉球、日本（北海道—九州）。
18. *Frullania sguarrosa* (Reinwardt, Blume et Nees) Dumortier
和名 ミドリヤスデゴケ
(No. 2947)
分布 熱帯暖帯地方に広く分布する。日本では本州、四国、九州より知られている。
19. *Frullania parvistipula* Stephani
和名 ヒメアカヤスデゴケ
(No. 2953)
分布 日本特産、本州（仙台）、四国（土佐）、九州（日向、薩摩）に知られている。本州からは2回目の報告である。
- Fam. *Metzgeriacericeae*
20. *Metzgeria himalayensis* Kashyap
和名 ヒマラヤカズノゴケ
(No. 2954)
分布 印度、ビルマに分布する。日本では南九州には広く分布している。本州から初めての報告である。
- Fam. *Marchantiaceae*
21. *Conocephalum conicum* (Linne) Necker
和名 ジャゴケ
(No. 2967)
分布 北米、歐洲、シベリヤ、ヒマラヤ、支那、台湾等に広く分布し日本列島でも北は樺太千島より南は台湾まで極めて普通に見られる。
- Fam. *Operculaceae*
22. *Reboulia hemisphaerica* (Linne) Raddi
和名 ウラベニゼゴケ、ヒメゼゴケ
(No. 2943)
分布 亞細亞、アフリカ、歐洲、北米、中南米、濠洲、ニュージーランド等、殆んど全世界に分布す。日本列島でも北海道から台湾まで、朝鮮にも広く知られている。（終り）

(147頁より続く)

Loxogramme Saziran Tagawa サジラン 音水、赤西

Drymotaenium Miyoshianum (Makino) Makino
グラガリシダ 音水、赤西（稀）

Pyrosia linearifolia (Hook.) Ching ピロウドシダ
音水
追加

Loxogramme grammitoides C. Chr. ヒメサジラン
音水（昭和6年8月19日、米沢新治氏採集）